

# 棚POWER<sup>®</sup>インフォメーション

経済活性化のためには、夏は暑くて冬は寒いのが良いとは聞きますが、今年はずっと暑さが行き過ぎている気がします。どうぞ熱中症にはお気をつけください。

Vol.87  
2010.08.19

Ver17.10

IConcept<sup>®</sup> サポートセンター

0120-987-571 (通話料無料)

受付時間 10:00～12:00, 13:00～17:00  
土日祝日はお休みをいただいております

E-mail iccenter@iconcept.co.jp  
http://www.iconcept.co.jp/

## 棚割再現に便利なツール 棚SCAN<sup>®</sup> for POWER<sup>®</sup> について、具体的な操作方法をご紹介します

陳列位置順に商品のバーコードをピッキングするだけで棚POWERなどの棚割システムで棚割再現を行なえるのが、「棚割ピッキングシステム 棚SCAN」です。ピッキングしたデータを、棚POWER独自の「MDL形式、CMF形式」ほか、棚割システム間共通の陳列位置フォーマットである「PTS形式」で出力できるため、棚割データのやり取りにもとても便利です。

### 棚SCAN<sup>®</sup> DT-5200での作業

棚SCAN DT-5200はPDAで動作するため、棚SCAN以外のソフトも使用できる高性能なツールです。ピッキング時にDT-5200上で什器設定や未登録商品の登録も可能なため、より実物に近い形の棚割を棚POWERで再現する事が可能です。

#### 1. 使用準備 インストール・各種設定

ActiveSync, I/Oボックスドライバー, 棚SCANをインストールします。  
インストール後は、バーコードスキャナの常駐設定や、内部電池放電後に棚SCANが消えてもすぐに戻せるように、環境のバックアップなどを行ないます。

#### 2. ピッキング準備 マスターデータの移行

棚POWER に登録している商品データ, 分類データをDT-5200に移行できます。商品データを移行することで、ピッキング時に商品名等が参照できる他、どの商品が棚POWERに登録があるか、ないかがすぐに分かります。

ユーティリティ・棚SCAN・DT-5200 から、必要な分類や、商品をJANコード指定や分類属性で選択してファイル出力します。  
出力後、DT-5200をI/OボックスにセットしPCと接続して、上記で出力したファイルをPC上でCドライブからモバイルデバイスを選択し、棚SCANの「data」フォルダへコピーします。

#### 3. ピッキング作業

環境設定やピッキング設定を行なった後、モデル設定, 什器設定を行ない、ピッキングを開始します。ピッキング中はDT-5200内に棚の画像が表示されるため、棚のどの箇所をピッキングしているのかも一目瞭然です。未登録商品をピッキングした際も、仮商品として登録が可能です。什器設定は不要にすることも可能です。

#### 4. 棚POWER で棚割再現 ピッキングデータの移行

ピッキングした棚割と、ピッキング時に登録した仮商品データをPC側に移行し、棚POWERで再現できます。

DT-5200をI/Oボックスにセットし、PCと接続します。  
接続後、PC上でCドライブからモバイルデバイスを選択し、棚SCANの「pdata」フォルダ内にある「\*.MDL」や「\*.CSV」等のファイルをコピーし、PC上の任意の場所に貼り付けます。  
貼り付けたファイルを、棚POWERで取り込みます。

仮商品を移行する場合は、「data」内の「TmpItem.MST」ファイルをコピーします。

以上で棚POWER 上でピッキングした棚割の再現が行なえます。



### 棚SCAN<sup>®</sup> ライトでの作業

棚SCAN ライトはピッキング作業に特化したツールです。棚SCANのインストールも不要で、ピッキングした棚割データをPTS, 陳列状況形式で棚POWERに移行できます。

#### 1. 使用準備 インストール

USB通信ユニット専用ドライバーをインストールします。

#### 2. ピッキング準備 マスターデータの移行

DT-5200と同じく、棚POWERに登録している商品データをライトに移行できます。ライトで移行可能なのは商品データのみです。

棚SCAN ライトをボックスにセットし、PCとUSBケーブルで接続し、ユーティリティ・棚SCAN・ライト を選択します。  
[エクスポート]より、JANコード指定や分類属性で出力する商品を選択し、エクスポート実行します。

棚POWERからライトへ、直接商品データが移行されます。

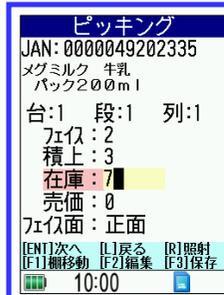
#### 3. ピッキング作業

環境設定でピッキングの設定を行なった後、「新規」や「更新」を選択して、ピッキングを開始します。

#### 4. 棚POWER で棚割再現 ピッキングデータの移行

棚SCAN ライトをボックスにセットし、PCとUSBケーブルで接続します。  
棚POWERユーティリティ・棚SCAN・ライト より、[インポート]で取込形式「PTS Ver2.0」か「陳列状況(CMF)」を選択して、インポート実行します。

以上で棚POWER 上でピッキングした棚割の再現が行なえます。



ユーザー様専用  
サポートセンター 無料ダイヤル  
0120-987-571

\*\*\* 受付時間のお知らせ \*\*\*  
10:00～12:00  
13:00～17:00  
(土日祝日除く)

### ユーザー様専用ページへのアクセス方法

ダウンロードサイトへのアクセスにはパスワードが必要となり、バージョンアップCDのお届けと同様、正規ユーザー様のみ利用いただくことが可能です。

流通マーケティング講座は正規ユーザー様へのサービスとなります。

下記、弊社ホームページよりユーザー様専用のID・パスワードを入力の上ご参照ください。

専用ID・パスワードはFAX送信させていただいております最新の「インフォメーション」をご参照ください。

・セミナー&コラム → 流通マーケティング講座

<http://www.iconcept.co.jp/series/marketing/index.htm>

第70回の内容は「セールスプロモーション 7」です。



流通マーケティング講座は正規ユーザー様へのサービスとなります。

下記、弊社ホームページよりユーザー様専用のID・パスワードを入力の上ご参照ください。

専用ID・パスワードはFAX送信させていただいております最新の「インフォメーション」をご参照ください。

・セミナー&コラム → 流通マーケティング講座

<http://www.iconcept.co.jp/series/marketing/index.htm>

第71回の内容は「セールスプロモーション 8」です。



棚POWER導入数【1112社 7887セット】 企業ライセンス・ATW版含む

